

【自然観察会 参加者から寄せられた感想 特集】

2022年12月19日

〈自然観察会（歴史探訪）－戸定邸～千葉大洋式庭園に思う〉

（企画担当） 捧 一夫

2020年1月から始まったコロナ禍で、二年間にわたり中断していた自然観察会を、いわゆる第7波の後の感染者数が減ったタイミングで実施することができました。

7月頃から感染者数の状況を見ながら、理事のみなさんの意向も踏まえ、最も安心な場所、安心な移動方法などと思い悩みながら候補地を検討・提案し、公共交通機関で集まりやすい松戸市の戸定邸及びその周辺を選び、企画調整しました。

前々日までは曇～晴れの予報でしたが、前日になり小雨模様の予報に変わりどうなることかと案じましたが、当日は、松戸駅集合時点では小雨模様でしたが、徒歩移動を開始すると雨もやみ、薄日が差すようになり一安心、「歩くのが速すぎる！」などの声もあり、新米の案内役は、配慮が行き届かず申し訳ありませんでした。

戸定邸からは、二班に分かれ松戸シティーガイドの方のガイドで邸内や庭園、千葉大学の構内の散策となりました。柱目のスギ柱や一本物の梁、一枚板でできた襖など華美では無い中に今ではとても入手できないような材料で贅沢に作られた建具等に感心し、窓から見えたという富士山や筑波山に思いをはせながら明治時代の松戸と武士の暮らしを感じました。

戸定邸の庭園は紅葉が見事でした。千葉大学の構内や洋式庭園は、イギリス式庭園は、芝張りの広場で少し肩すかし、イタリア式庭園は、玄関アプローチの斜面を利用し校舎に威厳を持たせたとのことでした。フランス式庭園が最も庭園らしく整備されていました。

これらも、明治後期の開校時から維持されているとのことで、歴史も感じることができました



自然観察会（歴史探訪）に参加させていただきました

小林喜代子 様

色とりどりの落ち葉を踏みしめながらの公園散歩が楽しい季節。主人の誘いでこの自然観察会に参加させていただきました。

今回の目指すところは松戸市にある戸定ヶ丘歴史公園・千葉大学園芸学部洋式庭園です。特に、戸定邸は国の重要文化財でもあり、世界遺産や史跡巡りが好きな夫婦としては、欠くことのできないスポットでした。

観察会当日の天気は雨天との予報でしたが、松戸駅に集合し、いざ戸定邸に出発すると雨も止み、雨にぬれた街路樹の葉は、紅葉が一層美しく感じられました。

まず、最初のスポットは戸定邸です。戸定邸は、明治時代の徳川家の住まいがほぼ完全に残る唯一の建物ということです。建設したのは徳川昭武(徳川慶喜の弟)で、造りは純和風の木造平屋一部二階です。室内はいくつもの座敷棟や内蔵棟(三葉葵のついた長持が飾られています)等、各部屋共に落ち着いた雰囲気のある23部屋から構成されています。また、表座敷棟から眺める旧徳川昭武庭園は、和風と洋風がうまく調合された造りとなっており、どなたにでも楽しめるものではないでしょうか。なお、天気の良い日には富士山の眺めも楽しめるとのことでした。

次に向かったスポットは千葉大学園芸学部洋式庭園です。通常は戸定邸から大回りをして大学構内に入りますが、この期間は戸定邸から続く戸定ヶ丘歴史公園の回廊門が解放されていたため、公園の自然を満喫しながら構内に入ることができました。

千葉大学園芸学部は、明治42年4月に「千葉県立園芸専門学校」として創立され、大正3年に「千葉県立高等園芸学校」、昭和4年に「千葉高等園芸学校」、昭和19年に「千葉農業専門学校」と改称され、昭和24年の5月に「千葉大学園芸学部」となる等、歴史ある学校です。また、そのなかでも教育の一環としていくつかの庭園を造成・管理しています。

庭園としては、イギリス風景式庭園、フランス式庭園、イタリア式庭園、ロックガーデンがあり、林脩巳という方と生徒たちで造られたそうです。また、庭園は新宿御苑や岩崎邸(現三菱の迎賓館)の西洋庭園の影響を受けているようで、特に、フランス式庭園は日比谷公園、新宿御苑、岩崎邸庭園について日本で4番目に古いフランス式庭園だそうです。庭園好きな方は、一度足を運ばれてはいかがでしょうか。さらに、フランス式庭園庭園の隣に歌碑が設置されていました。1924年(大正13年)に与謝野晶子がこの庭園を訪れた時に、花園の美しさを60首の短歌に詠んだとのことでした。

短時間でしたが、数々の歴史をもった戸定邸と千葉大学園芸学部を巡らせていただきました。その当時の人々の想いや、自然の大切さを改めて感じた観察会でした。

最後に、今回の観察会では「松戸シティガイド」の方々に説明をいただき、多くの歴史や自然の知識を学ぶ事が出来ました。また、この観察会を企画していただきましたEC千葉の皆様にも感謝いたします。

〈自然観察会に参加して〉

(副センター長) 中村 仁

今回初めて自然観察会に参加しました。戸定邸については、全く何も知らず、その存在さえ知りませんでした。募集の案内に書かれていた簡単な概要説明から、歴史的な建物なのだな、というくらいの認識でした。現地に着くと古い歴史のある建物という感じでしたが、ガイドさんのおかげで大変充実した時間を過ごすことができました。単に歴史や由来の話だけではなく、途中、公民館として使われていたことや、珍しい資材、中から見える風景など、なるほどと思えることがたくさんありました。次の千葉大学園芸学部の庭園でもガイドさんのパワー全開でした。肌寒い一日でしたが、寒さを忘れるほど楽しく庭園を散策で来ました。最後に、素晴らしい紅葉にも迎えられ、とても充実した楽しい一日となりました。関係者の皆さん、ありがとうございました。

〈自然観察会に参加して〉

中嶋 滋 様

「青天を衝け」でパリ活躍15代将軍慶喜の弟昭武の居住地を見れとても感動した。当社は渋沢栄一翁を相談役に迎えていたので大河を食い入るように見た。パリの昭武は堂々としており皇帝に拝謁していた。以前水戸の講道館へ行ったが水戸藩では質素に育ったのだろうと戸定邸を見て思った。木々や建物の手入れは大変であろうが是非後世に残して松戸市の財産となること願って、地球環境の行事のため皆様より早めに失礼した。幹事の皆様のご苦勞に感謝します。

〈自然観察会を終えて〉

上口 清彦 様

ここ数年（コロナ禍を除いて）観察会を実施して来たのは環境学習センターと水環境対策センターのみになっている中、今回の松戸・戸定公園はタイムリーな企画でした。水戸徳川家の歴史と教育体制、美学を垣間見ることが出来たことは何よりでした、今後も可能な限り参加して学ぶ機会を増やして頂きたいと希望します。今回は参加できなかった会員様も是非一緒に学びましょう。

〈自然観察会に参加して〉

橋本 正 様

環境カウンセラー千葉県協議会として、久々の「自然観察会」ありがとうございました。郷土の歴史をもの語る徳川慶喜の弟・徳川昭武の住まい「戸定邸」、日本の歴史公園100選の「戸定ヶ丘歴史公園」をガイド付きでの案内という素晴らしい企画でした。

〈自然観察会（歴史探訪）に参加して〉

井町臣男 様

ガイドの案内はとても分かり易く良かったです。戸定邸内では、明治時代にタイムスリップしたようなお話の数々。特に千葉大園芸学部洋式庭園では、ガイドのお話しは必須でした。手入れが行き届いた庭園の紅葉も見頃で、雨も上がり、様々な洋式庭園の散策を楽しむことができました。幹事の皆様、事前準備と当日の案内ありがとうございました。

〈自然観察会に参加して〉

小林 亨 様

ありがとうございました、
紅葉も見ごろでお天気も良くなり良い企画でしたし運動にもなりました。

〈自然観察会に参加して〉

国廣 隆紀 様

戸定邸はいつか見学したいと思っていましたが、当時の写真を見ることが出来、文明開化を肌で感じ取りました。

〈感想〉

吉田 昌弘 様

まず、この度の「戸定が丘歴史公園と千葉大園芸学部」のセットでの企画・運営に携わった幹事の皆さんに感謝申し上げます。実施が心配されましたが、雨もあがり、戸定邸の紅葉や千葉大の洋式庭園など自然との触れ合い、そして参加者との触れ合いもあり、タイムリーな自然観察会になったと思います。ボランティアガイドさんも素晴らしく、自然の恵沢や歴史探訪という多様さに、バランスの取れた学びの機会を得満喫できた1日でした。

〈あ・と・が・き〉

2年前の【清澄庭園】企画、関東大震災～東京大空襲の遺構でもある（岩崎家の回遊式林泉庭園）が、実施直前にコロナの流行で中止になって以来の自然観察会でした。

まだ、コロナの影響が残るなかで種々の制約がありましたが、若手スタッフの尽力とスタッフ全員のそれぞれのサポートのお陰で、実施に漕ぎつけることができたことに感謝です。

前夜の天気予報が一変する程の秋の穏やかなひと時、恰もそれは、スタッフへの労いへのご褒美、そして、参加いただいたみなさんへのプレゼントであったと感じました

ただ、惜しむらくは EC千葉全会員の一割のみの参加に留まったことです。

“より多くの会員の方々と、この素晴らしいひと時を共有出来たらもっとよかったのになあ”との思いが残ります。

…1人でも多くの方々にご参加いただく事が、次回へのエネルギーであることを思います…

（環境学習センター長 佐藤 ミヤ子）